

古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージのクリスマス



銀座の能楽堂で聴く、名曲の数々。

古澤巖が奏でるサン・ロレンツォ (1718年製ストラディバリウス) の  
至高の音色と共に気品溢れるクリスマスを演出します。

演奏予定曲:  
「マリーノコンチェルトより」  
「Limpida ~潤いの時~」  
Roberto Di Marino  
クラシックの名曲 他

古澤巖

×

ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ  
Christmas Concert



2019年12月17日[火] ①14:00開演 / ②19:00開演  
※開場は①②各公演30分前

会場 観世能楽堂 東京都中央区銀座6-10-1  
GINZA SIX地下3階

料金 10,000円 (全席指定・税込)

チケット発売  
2019年8月3日(土)10時~

お申込み・お問合せ キョードー東京 tel.0570-550-799 www.kyodotokyo.com (平日 11:00~18:00 土日祝 10:00~18:00)

◇主催: NHKプラネット、NHKプロモーション、セクターエイティエイト ◇後援: ハッツアンリミテッド

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※目付柱ははずします。

# IWAO FURUSAWA × PHILHARMONIC VIRTUOSI BERLIN CHRISTMAS

日本が誇るヴァイオリンの鬼才「古澤巖」、国境を超え名手が集う芸術家集団「ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ」。タンゴとクラシックの融合をテーマに、メロディを匠みに操るイタリアの作曲家「ロベルト・ディ・マリーノ」により書き下ろされた、熱く、切ない作品の数々。多彩な表現力で心に響く圧巻の演奏は、皆様の心を刺激し、とっておきのクリスマスを演出します。



— 使用楽器 —



Antonio Stradivari 1718  
"San Lorenzo Ex Viotti"

A.ストラディヴァリウス1718  
"サン・ロレンツォ Exヴィオッチィ"

現存するストラディヴァリウスは約600挺と言われている中で最もユニークな作品の一つである。

サイドには"GLORIA ET DIVITIE"という文字の痕跡があり、バスバーサイドには、"IN DOMO EIUS"というはっきりとした文字が残っている。

このフレーズは旧約聖書の詩篇第111章第3節からの引用で、元はラテン語で"Gloria et divitiae in domo eius et iustitia eius manet in saeculum saeculi"(栄光と富は神の家にあり、神の裁きは永遠である)とある。簡略化した抜粋が前述の一節(栄光と富は神の家にある)であり、ルネッサンス期には繁栄と富を願い、この言葉を様々な形で絵画や彫刻に入れていた。

Antonio Stradivari 1718 "SAN LORENZO Ex Viotti"はそんな願いを込めてストラディヴァリウス本人が書いたものであり、その言葉の通り、他のストラディヴァリウスの作品にはない思いが込められていると考えられる。

文:日本ヴァイオリン

## 古澤巖×ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ 公演予定

- 12/11(水) 女神の森セントラルガーデン メインホール(北杜/山梨)
- 12/12(木) かつしかシンフォニーヒルズモーツァルトホール(東京)
- 12/13(金) 東京オペラシティ・コンサートホール(東京)
- 12/14(土) 福岡シンフォニーホール(福岡)
- 12/15(日) しらかわホール(名古屋)
- 12/17(火) 観世能楽堂(GINZA SIX B3F)(東京)
- 12/19(木) ザ・シンフォニーホール大阪
- 12/20(金) ハイスタッフホール(観音寺市民会館)(香川)
- 12/21(土) さくらんぼタントクレストンター(東根/山形)

## 古澤 巖 (ヴァイオリン)

桐朋学園首席卒、フィラデルフィア・カーチス音楽院卒。

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院等でヴェーグ、ミルシテイン、ギトリス、バーンスタイン、チェリビダッケ等に学ぶ。日本音楽コンクール第1位。

86年より葉加瀬太郎とバンドを開始。88～91年都響の世界ツアーの為にコンサートマスターとソリストを兼任する。2016年より品川カルテット開始。

TOKYO FM「ジェットストリーム」テーマ曲「Mr.Lonely」を共に演奏しているベルリンフィル・ヴィルトゥオージとは、今年5枚目のアルバム『Limpida～潤いの時(HATS)』をリリース。「タンゴとクラシックの融合」をテーマに、イタリアの作曲家ロベルト・ディ・マリーノに毎年何曲もの新曲を委託している。

《<https://www.iwaofurusawa.com>》

## ベルリン・フィルハーモニー ヴィルトゥオージ

1979年、近年までもっとも有名なベルリンフィルの首席コントラバス奏者であったライナー・ツェベリッツによって創設された室内アンサンブルで、編成は弦楽のみから管楽器を含める編成に至るまで変幻自在である。このアンサンブルはシューベルト、メンデルスゾーン、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、ヤナーチェク、スークといったロマン派の音楽を中心に演奏しているが、新作や編曲作品、他のジャンルまで演奏の域を広げている。

代表的なアルバムは「弦楽のタンゴ」(HATS) など。今回は弦楽五重奏団として来日する。

ラウレンティウス・ディンカ Laurentius Dinca (Violin)  
ステファン・シュルツ Stephan Schulze (Violin)  
イグナツィ・ミエチニコフスキ Ignacy Miecznikowski (Viola)  
クリストフ・イゲルブリック Christoph Igelbrink (Cello)  
スタニスラフ・パヤック Stanislaw Pajak (Contrabass)

【ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団】

1882年に創設され、137年以上もの伝統を誇る世界最高のオーケストラ。フルヴェングラー、カラヤン、アバド、ラトルら錚々たる指揮者が歴代首席指揮者を務め、完璧なアンサンブルと輝かしいサウンドで世界中の音楽ファンを魅了し続けている。

8月3日(土) 10:00～ チケット発売!

※0570で始まる電話番号は一部の携帯・PHSからはご利用になれません。

■キョードー東京 0570-550-799 ■セクターエイティエイト 06-6353-8988 (平日10:00～18:00) <http://www.nohkyogen.jp/>

■チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> (Pコード:153-061) ■イープラス <https://eplus.jp>

■ローソンチケット 0570-000-407 <https://l-tike.com/> (Lコード:35650) ■観世能楽堂 03-6274-6579